

杖道とは

杖道、杖術（ジョウドウ、ジョウジュツ）と言われても聞き慣れない言葉ではないかと思います。

古来より杖術は様々な流派がありますが私達が取組んでいるのは、神道夢想流杖術及びそれより十二本の形と基本技を抽出した全日本剣道連盟杖道です。神道夢想流杖術とは四百年余りの歴史を持つ福岡発祥の日本古来の武道です。

その歴史や技法などについて簡単な紹介を致します。

歴史

神道夢想流杖術の流祖である夢想権之助勝吉は飯籬長威齋家直を流祖とする天真正伝香取神道流の道統七代に当たります。

勝吉は神道流の奥義を極め、更には鹿島神流の極意「一の太刀」も授かったと伝えられています。

慶長元和寛永年間東国に於いて諸国武者修行に出て多くの剣客と立合ったが、一度も敗れる事はありませんでした。

更に西国に修行に向かう途中播州の明石において、宮本武蔵と立合い武蔵の極意とする十字留の技にかかり進む事も引く事も出来ずに破れました。

それ以来、勝吉は更なる修行に努め、筑前國（現、福岡県）太宰府の修験場である霊峰宝満山に至り祈願参籠、

三七日目（二十一日目）の満願の夜、夢に神童が現れ「丸木を以って水月を知れ」とのご神託を伝えました。

勝吉は是をもとに更に工夫を重ね、終に棒杖の術を編み出し宮本武蔵を破ったと口承されています。

奥伝に武蔵を破った技と言われる形が「水月」との名称で伝えられています。

その後、勝吉は創始した棒杖の術を以って筑前福岡藩に召抱えられたとされますが、確かな資料が残っていません。

しかし、その技芸は途中三派に分れながら福岡藩士に依って幕末迄連綿と伝えられました。また、その術技は江戸期に

朝倉地方の三奈木黒田家の家臣にも伝えられ、この地域でも大に行われました。『筑前續風土記拾遺』の編纂者として

知られる青柳種信も杖術の目録の腕前でした。幕末の勤皇の志士である平野次郎國臣は、福岡の当流十五代の統平野吉蔵能榮を

父に持ち自らも杖術に励み『棒杖故実』を著しました。明治維新を迎え当流は衰退しますが、そのときに残った福岡の二派の

合同が行なわれ、その後全国に普及活動がなされ戦前は満州等でも行なわれました。

昭和十五年大日本杖道会が設立され、戦後昭和三十年に日本杖道連盟が発足し、昭和三十一年全日本剣道連盟に加入。

昭和四十三年に全日本剣道連盟において基本技十二本、形十二本からなる全日本剣道連盟杖道制定形が定められました。

その年の五月京都武徳殿演武大会において打太刀 清水隆次範士 仕杖 乙藤市蔵範士により初めて披露されました。

以後、全国に於いて普及活動が行われ、今では活動人口も二〜三万人となり全国大会等も開かれ全日本剣道連盟からの

段位の授与も行なわれています。

また、海外での普及も行われ、欧米、ロシア、オーストラリアなどでも愛好家が増えています。

その一方で神道夢想流杖術としての伝承も続けられ、術技と共に古来の切り紙、巻物の伝授も行なわれています。



技法

神道夢想流杖術は、太刀と杖による六十余本の形と剣術十二本の形からなるものです。

六十余本は段階的に、表、中段、乱合、影、五月雨、奥伝、極意と構成され、それぞれの段階に応じて心身を練る様、形において工夫がなされています。

杖術の特色としては、

突けば槍 払えば薙刀 持たば太刀 杖はかくにも 外れざりけり

平野三郎能得

と道歌に有る様に、太刀と異なり刃も無く柄も無く、先も元も無い。

何れも刃となり柄となり、其の動きは千変万化です。体捌きによる杖捌きの妙術であります。

其の用いる杖は、白檜で長さ四尺二寸一分で死に一分を加えたとの意であり、径は八分で末広がりを表し丸は和を表します。

其の思想は、神武不殺と言われ道歌にも

疵つけず 人をこらして 戒むる 教へは杖の 外にやはある

平野次郎國臣

とある。杖は刀槍より勝れりと言われる所以であります。

神道夢想流杖術においては、江戸期より福岡に連綿と伝えられた術技を変える事無く継承し現代に伝えています。

また併伝武術として、神道流剣術、中和流短剣術、一心流鎖鎌、内田流短杖術があります。

全日本剣道連盟杖道

基本	本手打、逆手打、引落打、返突、逆手突、巻落、繰付、繰放、体当、突外打、胴払打、体外打(右、左)
形	着杖、水月、引提、斜面、左貫、物見、霞、太刀落、雷打、正眼、乱留、乱合

神道夢想流杖術

表	太刀落、鐔割、着杖、引提、左貫、右貫、霞、物見、笠之下、一礼、寝屋之内、細道
中段	一刀、押詰、乱留、後杖、待車、間込、切懸、真進、雷打、横切留、払留、清眼
乱合	大太刀、小太刀
影	太刀落、鐔割、着杖、引きけ、左貫、右貫、霞、物見、笠の下、一礼、寝屋之内、細道
五月雨	一文字、十文字、二刀小太刀落、ミジン、ミジン、眼ツブシ
奥伝(仕合口)	先勝、引捨、小手擲、十手、突出、打附、小手留、打分、水月、左右留、見返、あうん
極意	闇打、夢枕、村雲、稲妻、導母